

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)	科 目 区 分	応用分野	授業の方法	講義
科 目 名	問題集(上級)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	502教室
担 当 教 員	山上 直子	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

N2の復習を入れながらN1の問題を数多く当てる。12月の日本語能力試験N1合格を目指し、文字・語彙、文法、読解、聴解の問題を数多くこなしていく。能力試験では選択肢があるが、N2レベルまでは漢字の読み書き、読解の解答では、それに頼らず自分で記述できるような力もつけ、将来の就職を見据えての力をつける。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験: 70 %
2. 出席率 : 20 %
3. 平常点 : 10 %

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『日本語能力試験対策問題集、模擬試験』
『日本語能力試験対策N2、N1文法』(三修社)『ドリル&ドリルN2、N1』(ユニコム)『JLPT直前対策N2、N2、N1』(国書刊行会)、日本留学試験過去問題(凡人社)、『実用日本語テスト過去問題集』、オリジナルハンドアウト

《授業外における学習方法》

日本語能力試験や日本留学試験は選択式の問題ですが、選択肢がなくても答えがだせるように、いつも自分で考える癖をつけましょう。就職後、大学、大学院では自分で書ける、話せる力が必要です。12月の日本語能力試験ではN1に合格しましょう。

《履修に当たっての留意点》

N2までの勉強を疎かにしないでください。基礎が身につけていなければ、運用力はつきません。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 弱点を見つける。日本語能力試験N3、N2レベルの復習 日本留学試験320以上を目指す	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
	各コマにおける授業予定	N3、N2文法、文字・語彙 日本留学試験 聴解		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 弱点を見つける。日本語能力試験N3、N2レベルの復習 日本留学試験320以上を目指す	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
	各コマにおける授業予定	N3N、2文法、読解 日本留学試験 聴読解		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 弱点を見つける。日本語能力試験N3、N2レベルの復習 日本留学試験320以上を目指す	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
	各コマにおける授業予定	N3、N2文法、聴解 日本留学試験 読解		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する 日本留学試験320以上を目指す	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
	各コマにおける授業予定	N1文法、文字・語彙(1) 日本留学試験 聴解		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する 日本留学試験320以上を目指す	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
	各コマにおける授業予定	N1文法、読解(1) 日本留学試験 聴読解		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。 日本留学試験320以上を目指す	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、聴解(1) 日本留学試験 読解		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、文字・語彙(2)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、読解(2)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N3文法、聴解(2)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、文字・語彙(3)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、読解(3)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、聴解(3)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、文字・語彙(4)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、読解(4)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語能力試験N1レベルの日本語力を修得する。	使用教材から適宜抜粋	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。
		各コマにおける授業予定	N1文法、聴解(4)		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科 目 区 分	応用分野	授業の方法	講義
科 目 名	問題集(上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	502教室
担 当 教 員	山上 直子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
N2の復習を入れながらN1の問題を数多く当てる。12月の日本語能力試験N1合格を目指し、文字・語彙、文法、読解、聴解の問題を数多くこなしていく。能力試験では選択肢があるが、N2レベルまでは漢字の読み書き、読解の解答では、それに頼らず自分で記述できるような力もつけ、将来の就職を見据えての力をつける。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 70 % 2. 出席率 : 20 % 3. 平常点 : 10 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
『日本語能力試験対策問題集、模擬試験』 『日本語能力試験対策N2、N1文法』(三修社)『ドリル&ドリルN2、N1』(ユニコム)『JLPT直前対策N2、N2、N1』(国書刊行会)、日本留学試験過去問題(凡人社)、『実用日本語テスト過去問題集』、オリジナルハンドアウト						
《授業外における学習方法》						
日本語能力試験や日本留学試験は選択式の問題ですが、選択肢がなくても答えがだせるように、いつも自分で考える癖をつけましょう。就職後、大学、大学院では自分で書ける、話せる力が必要です。12月の日本語能力試験ではN1に合格しましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
N2までの勉強を疎かにしないでください。基礎が身についていなければ、運用力はつきません。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	Jテストにチャレンジする(1)	Jテスト過去問題	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。	
		各コマにおける授業予定	N1レベル問題			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	Jテストにチャレンジする(2)	Jテスト過去問題	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。	
		各コマにおける授業予定	N1レベル問題			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	Jテストにチャレンジする(3)	Jテスト過去問題	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。	
		各コマにおける授業予定	N1レベル問題			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	Jテストにチャレンジする(4)	Jテスト過去問題	わからない問題は確認すること。聴解、聴読解は聞きなおすこと。	
		各コマにおける授業予定	N1レベル問題			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認する。			
		各コマにおける授業予定	日本語テストの実施			